

科目名称：	英語コミュニケーションⅡ（ビジネス実務学科）	
担当者名：	ウィンフィールド・レズリー・ブラッド	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
This course develops student's conversational skills as they use English to discuss a variety of topics. Using "everyday" English, students will participate in small group and pair work activities.		
授業の達成目標・到達目標		
This course focuses on enhancing speaking ability while they continue to improve listening, reading and writing skills.		

基礎教育科目	ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	25	25	25	25	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
	《内容1》 例：保育士	《経験年数1》 例：5年6ヶ月
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
リスニング、会話、文章作成	担当教師と英語でコミュニケーションができ、考えを表現できる。英語で他者の理解をサポートできる。	担当教師と片言であっても英語でコミュニケーションができ、考えを表現できる。	担当教師と英語でコミュニケーションしたり、考えを表現したりしようとする意欲があり、辞書などを活用しながらでも意思疎通できる。	担当教師と英語でコミュニケーションする意欲が見られない。指示などを理解できず、返答する姿勢が見られない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間
第1回	Introduction - group discussion and pair work	Read this syllabus	20分
第2回	Hometown - pair work and small presentation	Review of previous class (Introduction)	30分
第3回	Getting around - pair work and listening	Review of previous class (Hometown)	30分
第4回	Describing things - group activity and conversation	Review of previous class (Getting around)	30分
第5回	Describing People - Team game and role play	Review of previous class (Describing things)	30分
第6回	Opposites - pair work and puzzle solving	Review of previous class (Describing People)	30分
第7回	Test preview - preparation for midterm test	Review of previous class (Opposites)	30分
第8回	Midterm small test	Preparation for midterm small test	30分
第9回	I want to be... - pair work and role play	Preparation for role play	30分
第10回	Excuse me! - small group presentation	Preparation for small group presentation	30分
第11回	Opinions - class debate	Preparation for class debate	30分
第12回	Going out - pair work and role play	Preparation for role play	30分
第13回	The future! - writing and small group work	Preparation for "The future!"	30分
第14回	Final small test preview - preparation for final small test.	Review of previous class	30分
第15回	FINAL SUMMARY	Prepare for FINAL SUMMARY	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、25%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

25% Quiz, 25% Report, 10% Participation, 15% Assignments

課題に対するフィードバック

Feedback for home work and other assignments will be marked and given to the students.

教科書・参考書

Worksheets will be given out in class.